

すぎりは



2024.9 Vol.48

病院機能評価更新受審について

当院では2014年に病院機能評価を初回受審しました。
そして、2019年に1回目の更新受審、2024年が2回目の更新受審時期となりました。

回復期リハビリテーション病棟の施設基準項目で日本医療機能評価機構の病院機能評価受審を推奨されているため、回復期リハビリテーション病院としての更なる機能向上を目指し、2回目の更新受審を6月に実施しました。

今回受審した評価項目3rdG:Ver.3.0は、「事務管理領域の評価項目・評価方法の見直し」「法制度改正等への対応」を中心に改定となり、診療記録評価として「カルテレビュー」をすべての種別に導入するなど評価方法が変更となりました。

初めての「カルテレビュー」に戸惑いもありましたが、事前準備として多職種による診療記録確認によりスムーズな審査が行われました。

新型コロナの影響で更新受審時期が通常より遅くなり、2024年度診療報酬改定の時期と重なり現場スタッフは多忙を極めました、「医療の質向上」「組織運営強化」「院内環境改善」など様々な取り組みが行われました。

新型コロナ禍後のウィズコロナ時代での新たな医療提供体制が求められる中、院内感染対策、医療安全、組織運営など病院機能の見直しとして、今回の更新受審は大きな役割を果たしました。

今後も地域の医療体制確保に貢献できるよう病院機能向上に努めてまいります。



医療安全対策委員会

2024

医療安全の確保は最も重要な課題の1つです。患者様の安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方としての「安全文化」を醸成し、現場に定着させていく事を目指し医療安全対策委員会は以下の5つのチームを中心に活動しています。

業務改善推進チーム

身体拘束最小化チーム

転倒転落対策チーム

骨折予防チーム

薬剤チーム

医療安全対策委員会は昨年度『危険予知能力を高めていこう』を年度方針として、年間インシデント報告件数800件を目標に啓発活動やレポートの簡易化を実施しました。結果848件のインシデント報告を達成しました！今年度は心理的安全性の高い病院を目指して、『意識改革してチーム力を上げていこう』を年度方針として活動しています。

各チームの取り組み

転倒転落対策チーム：

転倒転落の事例を分析・ラウンドし、安全が確保できる、転んでも怪我をしない環境の検討等行っています。

身体拘束最小化チーム：

身体拘束をしない意識での対応を考え、やむを得ず拘束した場合は早期の解除・弊害予防や苦痛の緩和に向けた検討が出来る様にラウンドしています。

業務改善推進チーム：

ラウンド・急変時対応研修・インシデント周知事項を3本柱に活動しています。スタッフが提出したインシデントをスピーディーに改善へと繋げて事故防止していきます！

骨折予防チーム：

対象患者様を多職種で話し合い、再び骨折しない様に環境及び薬の調整を検討しています。

薬剤チーム：

薬剤関連のインシデントを分析し、対策・改善策を検討しています。また薬剤インシデントは、基本的確認などルールを守っていると防げる事が多い為ラウンドし、ルールが守られる様に周知しています。

回復期リハビリテーションは、安全確保の考えだけでは成り立たない分野とも言えます。チーム同士で連携をとりながら、身体拘束をしない・活動性を維持しながらも安全に生活が送れる、積極的なリハビリテーションが実施出来る環境を作っていきます！



医療の質向上委員会 2024

当院に医療クオリティマネージャー誕生！

日本医療機能評価機構が教育事業として行っているものに、医療クオリティマネージャーがあります。これは、各病院・施設において医療の質を改善していくためのリーダーを育成するものです！

この度、当院スタッフが医療クオリティマネージャーの認定に合格しました！

現在も、医療の質向上委員会の委員長として活動してくれています！今後の活躍に期待しましょう！



→認定のマークです！

各委員会の質改善に向けた取り組み

当院の医療の質向上委員会は、回復期の臨床評価指標の確認と問題点の抽出を行うことと、管轄する各委員会にも質改善活動に取り組んで頂き、その活動をチェックする体制を取っています！

毎年、各委員会ごとに、昨年度の課題を精査し、年間のアクションプラン・目標値を設定してもらっている中で、昨年度のHOTな部分をご紹介します！

【各委員会のHOTな取り組み】

01 褥瘡対策委員会

スキンテアの発生予防や発生時に対するマニュアルの作成や、リスクアセスメントを全ケースに実施する体制が整いました！

02 医療安全対策委員会

身体拘束実施率は、やむを得ない場合のみに使用することを前提に、使用せずに生活できる工夫をラウンド等で見出していき、全体で11.5%の実施率で留めることが出来ました！

03 医療安全対策委員会

インシデント報告件数を増やすために、啓発活動やレポートの簡易化等の実施にて、目標の年間800件を超える848件を達成しました！

04 倫理委員会

倫理について検討していく風土作りのために、各部署毎月1件の倫理課題を提出することを目標にし、年間57件の課題の検討を実施しました！

当院らしい質改善に向けて

医療の質を向上していくにあたっては、病院の規模やスタッフの充実度に合わせて、様々なシステムを変更していく必要があります。中にいると気づけていない部分も多々あると思われます。皆様がお気づきになった点がございましたら、ご意見を頂けると、我々の質改善に繋がられます。よろしくお願いいたします！

～当院の現況～

	2024年5月	2024年6月	2024年7月
病 床 利 用 率	99.2%	90.5%	92.1%
入院延べ患者数	3077人	2714人	2854人
在 宅 復 帰 率 (直近3ヶ月)...	87.5%		
重 症 患 者 割 合 (直近6ヶ月)...	37.6%		
重症患者回復病棟改善割合(直近6ヶ月)...	55.1%		

※日常生活機能評価で10点以上若しくはFIM55点以下の新規患者割合

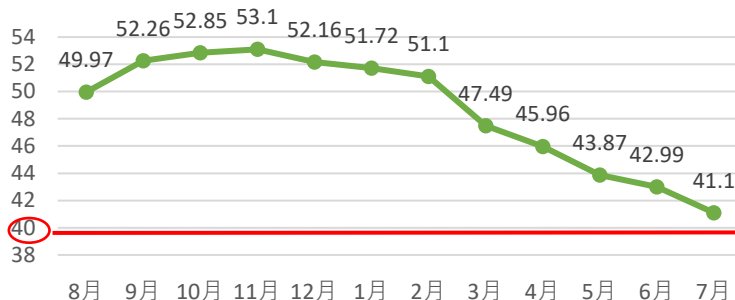
※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

～リハビリ評価～

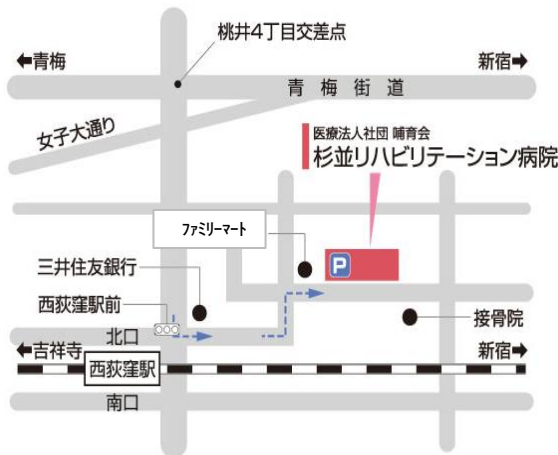
実績指数

各患者の	FIM得点の {運動項目} の退棟時と入棟時の差	の総和
各患者の	入棟から退棟までの在棟日数	の総和
各患者の	状態毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数	の総和

実績指数 (直近6ヶ月平均)



交通のご案内



★西荻窪までの所要時間

JR中央線	東京から	約25分
JR中央線	新宿から	約14分
JR中央線	吉祥寺から	約 2分



JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口徒歩2分
 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km
 西荻窪駅前信号を左 (一方通行)

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります。
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります。
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります。
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります。
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります。
- 6、患者様は自己決定ができない場合、代理人に意思決定を委ねる権利が有ります。

【理 念】

「愛し愛される病院」

【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。



医療法人社団 哺育会

杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5

TEL 03-3396-3181 (代)

発 行：杉並リハビリテーション病院

発行責任者：小寺 正純

編 集 責 任：広報委員会

<https://www.suginami-reha-tokyo.jp/>

